

平成30年度政務活動費収支報告 (平成30年5月1日～平成31年3月31日)

各会派から平成30年度政務活動費の収支報告が提出されましたので、収支の状況をお知らせします。
 なお、平成30年4月に市議会議員選挙が行われたため、平成30年5月から平成31年3月までの11カ月分になります。

政務活動費は、地方議会議員の市政等に関する調査研究に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付される金銭的給付です。三条市では、市議会における会派に対して、議員1人当たり月額3万円を年度当初に一括で交付しています。

この支出に当たっては用途基準に従って行われ、用途の透明性を図るため、支出したものの全ての領収書の提出が必要になっています。

(単位：円)

会派名	自由クラブ (7名)	新しい風 (5名) 平成31年2月解散	自民クラブ (4名) 平成31年2月解散	清風クラブ (6名) 平成31年2月結成	日本共産党議員団 (3名)	公明党議員団 (2名)	無所属 (1名) ^{※1}	計 (22名) ^{※2}	
	平成30年5月～平成31年3月 (11カ月)	平成30年5月～平成31年2月 (10カ月)	平成30年5月～平成31年2月 (10カ月)	平成31年3月 (1カ月)	平成30年5月～平成31年3月 (11カ月)	平成30年5月～平成31年3月 (11カ月)	平成30年5月～平成31年3月 (11カ月)		
収入内訳	政務活動費補助金	2,310,000	1,650,000	1,320,000	180,000	990,000	660,000	360,000	7,470,000
	雑入(預金利息)	9	10	6	0	4	3	0	32
	収入合計	2,310,009	1,650,010	1,320,006	180,000	990,004	660,003	360,000	7,470,032
支出内訳	調査研究費	1,263,686	224,768	467,758	0	0	0	0	1,956,212
	研修費	433,020	95,000	80,000	0	166,524	116,468	317,860	1,208,872
	広報費	0	0	0	0	622,050	0	0	622,050
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	104,629	246,131	0	37,536	10,588	58,279	16,109	473,272
	資料購入費	0	0	35,424	0	112,322	65,016	9,915	222,677
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計	1,801,335	565,899	583,182	37,536	911,484	239,763	343,884	4,483,083	
返還金	508,674	1,084,111	736,824	142,464	78,520	420,240	16,116	2,986,949	

- 調査研究費 会派での先進地の調査研究など、行政視察に要した費用
- 研修費 会派による研修会、中越地区市議会合同研修会などの参加に要した費用
- 広報費 会報などの印刷に要した費用
- 広聴費 会派での住民要望、意見聴取、住民相談などに要した費用
- 要請・陳情活動費 会派での要請、陳情活動に要した費用
- 会議費 会派が行う会議、団体等が開催する会議への参加に要した費用
- 資料作成費 パソコンのリース代、コピー用紙代、プリンターインク代などの資料作成に要した費用
- 資料購入費 図書、資料などの購入に要した費用
- 人件費 会派が行う活動を補助する職員の雇用に要した費用
- 事務所費 会派が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要した費用

※1 平成31年2月から、長橋一弘議員および佐藤宗司議員の2名に変更(平成31年3月分は2名分です)
 ※2 平成31年2月から、河原井拓也議員および杉井旬議員の辞職により22名から20名に変更

西潟為蔵氏の顕彰について

Q 西潟為蔵氏は、八十里越道路開通の働き掛けをはじめとする地域振興だけでなく、県議会議員5期、第1回帝國議会から代議士を2期務めるなど広く活躍した歴史的人物であり、その精神を将来に継承すべきではないか。

A 小学校の副読本に掲載されており、図書館等複合施設完成後の現図書館での顕彰のほか、諸橋轍次記念館での顕彰もあわせて検討していく。



西潟為蔵顕彰碑(福岡地内)

音楽イベントなどでの不正薬物の使用対策について

Q 昨年、中浦ヒメサユリ森林公園で行われた外部団体イベントで、観客の不正薬物使用が問題となったが、今年同所で行われる三条音楽祭などのイベントにおける対策をどのように考えているのか。

A 警察や関連機関との調整により対策を図っていくとともに、引き続きホームページやSNSなどで注意喚起に取り組んでいく。

高齢者運転の交通事故について

Q 国や各自治体を取り組み始めた優遇措置に対して、三条市の取り組みについて伺う。

A 県内で行われている優遇策は、バスやタクシーを利用する一過性のもので、当市ではデマンド交通を充実させ利用率の高い生活交通環境を整えてきた。

Q 免許返納後の移動手段確保の取り組みについて伺う。

A おでかけバス利用での複数乗車等により負担の軽減を図る。新設の公共施設や医療機関には停留所を新設する。

諸橋轍次記念館エレベーター設置について

Q 近年2階建て以上の公共建物にはエレベーターの設置が多い。30年以上経過したが設置は可能か。

A 施設の構造、技術的にも設置は可能。8000万円程度費用が必要となる。

Q 中国重慶市巴南区との友好都市提携記念事業として取り組んでほしいか。

A 記念館に設置の考えはない。

4月執行の県議会議員選挙について

Q 投票済み証明書を市の選挙管理委員会とはどのような目的で発行しているのか。

A 投票しやすい環境を整えるため、また県内14市で発行している。

三条市ホストタウン事業について

Q コソボ共和国の選手団受け入れとその対応について伺う。

A 選手は10名、スタッフを合わせて20人程度。宿泊、練習施設に万全を尽くす。

